

会

議

午前 10 時 0 分開議

○議長（竹内清二君） おはようございます。

出席議員が定足数に達しておりますので、会議は成立いたしました。

直ちに本日の会議を開きます。

本日の会議開催に当たり欠席したい旨の届け出のありました議員は、8 番 鈴木 敬君であります。

ここで報告の件がありますので、局長補佐をして朗読いたさせます。

○局長補佐兼庶務兼議事係長（高橋智江君） 朗読いたします。

下総行第136号。平成30年9月14日。

下田市議会議長、竹内清二様。静岡県下田市市長、福井祐輔。

平成30年9月下田市議会定例会議案の追加並びに提出済み議案及び説明資料の差し替えについて。

このことについて、平成30年9月下田市議会定例会に下記議案を追加提出したいので、申し入れます。

また、当該議案の追加に伴い、補正番号を初め変更が生じるため、提出済みの議案及び説明資料について差し替えをお願いいたします。

記。

1. 追加議案について。

議案名、報第11号 専決処分の承認を求めることについて（平成30年度下田市一般会計補正予算（第4号））。

理由、平成30年9月10日に発生した大雨被災に係る復旧対応を早急に行うため、平成30年9月12日、専決により下田市一般会計予算を補正しました。この報告を行うため、議案を追加するものです。

以上でございます。

○議長（竹内清二君） ただいまより議会運営委員会を第1委員会室で開催いたしますので、委員の方はお集まりください。

ここで暫時休憩いたします。

午前 10 時 2 分休憩

---

午前 10 時 11 分再開

○議長（竹内清二君） 休憩を閉じ会議を再開いたします。

本日、市長から提出されました報第11号 専決処分の承認を求めることについて（平成30年度下田市一般会計補正予算（第4号））、議案の追加申し出があります。この際、報第11号を日程に追加することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（竹内清二君） ご異議はないものと認めます。

お諮りいたします。

報第11号を日程第3の次に追加し、ただいま配付いたしました議事日程のとおりとすることにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（竹内清二君） ご異議はないものと認めます。

よって、報第11号は、日程第3の次に追加し、ただいま配付いたしました議事日程のとおりとすることと決定いたしました。

---

#### ◎認第1号～認第10号の上程・説明・質疑・委員会付託

○議長（竹内清二君） 次は、日程により、認第1号 平成29年度下田市一般会計歳入歳出決算認定について、認第2号 平成29年度下田市稲梓財産区特別会計歳入歳出決算認定について、認第3号 平成29年度下田市下田駅前広場整備事業特別会計歳入歳出決算認定について、認第4号 平成29年度下田市公共用地取得特別会計歳入歳出決算認定について、認第5号 平成29年度下田市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について、認第6号 平成29年度下田市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について、認第7号 平成29年度下田市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について、認第8号 平成29年度下田市集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について、認第9号 平成29年度下田市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について、認第10号 平成29年度下田市水道事業会計歳入歳出決算認定について、以上10件を一括議題といたします。

当局の説明を求めます。

会計管理者。

○会計管理者兼出納室長（鈴木光男君） それでは、認第1号 平成29年度下田市一般会計歳

入歳出決算認定についてから認第9号 平成29年度下田市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定についてまでの決算につきましてご説明申し上げます。

決算書のご用意をお願いします。

1 ページをお開きください。

最初に、一般会計・特別会計歳入歳出決算総括表でございます。

一般会計と8特別会計を合計した決算額は、歳入決算額190億2,394万6,890円、歳出決算額は179億5,657万8,382円で、前年度と比較しますと歳入決算額はマイナス1億3,403万110円、0.7%の減、歳出決算額は4,433万8,905円、0.2%の増となっております。

なお、各会計相互間の繰入金、繰出金の重複額13億3,644万8,227円を控除した純計額は、歳入決算額188億4,064万7,595円、歳出決算額176億8,545万1,364円でございます。

次に、認第1号 平成29年度下田市一般会計歳入歳出決算認定についてご説明申し上げます。

5 ページ、6 ページをお開きください。

歳入合計額は107億529万3,236円でございます。

11ページ、12ページをお願いします。

歳出合計額は100億2,955万2,170円で、歳入歳出差引額は6億7,574万1,066円でございます。前年度と比較しますと、歳入総額はマイナス1億4,117万1,559円、1.3%の減、歳出総額はマイナス1億3,806万3,454円、1.4%の減となりました。予算現額に対する執行率は、歳入99.3%、歳出は93.1%でございます。

内容につきましては、事項別明細書により説明させていただきます。

13ページをお開きください。

歳入から申し上げます。

1 款市税の収入済額は29億1,543万4,217円となり、前年度に比べマイナス1,412万6,056円、0.5%の減となっております。また、予算現額に対する率は101.8%、調定額に対しましては92.7%でございます。なお、収入未済額は1億9,256万6,866円となり、前年度と比べ4,452万2,147円減少しました。

税目別の状況についてご説明申し上げます。

1 項市民税は、収入済額10億3,803万3,690円、不納欠損額483万3,451円、収入未済額7,571万4,271円でございます。収入額を前年度と比較しますとマイナス532万7,291円、0.5%の減となりました。

市民税の内訳を申し上げます。

1 目個人は、収入済額 8 億8,946万4,460円、不納欠損額463万3,451円、収入未済額7,054万1,901円でございます。収入額を前年度と比較しますとマイナス810万6,421円、0.9%の減となりました。

2 目法人は、収入済額 1 億4,856万9,230円、不納欠損額20万円、収入未済額517万2,370円でございます。収入額を前年度と比較しますと277万9,130円、1.9%の増となりました。

2 項固定資産税は、収入済額13億7,082万2,859円、不納欠損額2,679万1,710円、収入未済額は9,846万1,692円でございます。収入額を前年度と比較しますと277万9,130円、1.9%の増となりました。

内訳を申し上げます。

1 目固定資産税は、収入済額13億6,441万4,359円でございます。収入額を前年度と比較しますと137万1,855円、0.1%の増となりました。

2 目国有資産等所在市町村交付金は、収入済額640万8,500円で、前年度と比較しますと93万5,100円、17.1%の増となりました。

3 項軽自動車税は、収入済額6,974万8,170円、不納欠損額50万2,100円、収入未済額は540万9,815円でございます。収入額の前年度比較では317万908円、4.8%の増となりました。

4 項市たばこ税は、収入済額 1 億8,735万2,649円でございます。前年度と比較しますとマイナス1,421万8,996円、7.1%の減でございます。

15ページをお開きください。

5 項特別土地保有税は、地方税法の改正により平成15年度以降、課税停止となっております。

6 項入湯税は、収入済額7,931万9,550円、不納欠損額ゼロ円、収入未済額26万9,080円でございます。収入額の前年度比較では30万6,640円、0.4%の増となりました。

7 項都市計画税は、収入済額 1 億7,015万7,299円、不納欠損額334万729円、収入未済額1,271万2,008円でございます。収入額の前年度比較ではマイナス36万4,272円、0.2%の減となりました。

2 款地方譲与税は、収入済額6,219万3,000円で、前年度比マイナス15万5,000円、0.2%の減でございます。内訳としまして、1 項地方揮発油譲与税1,802万1,000円、前年度比マイナス19万円、1.0%の減、2 項自動車重量譲与税は4,417万2,000円、前年度比 3 万5,000円、0.1%の増でございます。

3 款利子割交付金は、収入済額454万1,000円で、前年度比183万1,000円、67.6%の増でございます。

17ページをお開きください。

4 款配当割交付金は、収入済額1,133万6,000円で、前年度比324万9,000円、40.2%の増でございます。

5 款株式等譲渡所得割交付金は、収入済額1,326万7,000円で、前年度比713万8,000円、116.5%の増でございます。

6 款地方消費税交付金は、収入済額 4 億5,280万8,000円で、前年度比595万7,000円、1.3%の増でございます。

7 款自動車取得税交付金は、収入済額2,292万9,000円、前年度比597万8,000円、35.3%の増でございます。

8 款地方特例交付金は、収入済額650万1,000円、前年度比37万7,000円、6.2%の増でございます。

9 款地方交付税は、収入済額28億426万6,000円で、主な内訳は、普通交付税が24億4,243万5,000円で、前年度比マイナス5,187万円、2.1%の減、特別交付税は 3 億6,182万3,000円で、前年度比マイナス244万9,000円、0.7%の減となっております。地方交付税としては前年度比マイナス5,431万1,000円、1.9%の減でございます。

19ページをお開きください。

10 款交通安全対策特別交付金は、収入済額273万9,000円で、前年度比マイナス25万2,000円、8.4%の減でございます。

11 款分担金及び負担金は、収入済額 1 億810万6,767円、不納欠損額25万9,500円、収入未済額は315万920円でございます。収入済額を前年度と比較しますとマイナス1,896万9,996円、14.9%の減でございます。

12 款使用料及び手数料は、収入済額 1 億2,481万2,242円、収入未済額314万8,665円でございます。収入済額を前年度と比較しますと127万7,601円、1.0%の増でございます。収入未済額は前年度と比べマイナス214万5,225円、40.5%減少しております。

25ページをお開きください。

13 款国庫支出金は、収入済額12億8,280万2,035円、収入未済額2,854万円で、前年度に比べマイナス4,718万4,145円、3.5%の減となっております。うち国庫負担金は10億6,611万5,745円で、2,252万1,580円、2.2%の増となっております。国庫補助金は 1 億9,305万6,000

円で、マイナス7,545万5,000円、28.1%の減となっております。また、平成30年度への繰り越し分による収入未済額ですが、土木施設災害復旧費負担金324万円と土木費国庫補助金2,530万円、これは社会資本整備総合交付金でございます。委託金は2,363万290円で、574万9,275円、32.2%の増となっております。社会福祉費委託金、都市計画費委託金等の増によるものです。

29ページをお願いします。

14款県支出金の収入済額は6億1,497万7,480円で、前年度比4,649万4,398円、8.2%の増となっております。うち県負担金は3億5,774万1,271円で、241万8,917円、0.7%の増となっております。

31ページをお開きください。

県補助金は1億9,556万3,473円で、3,351万9,122円、20.7%の増となっております。また、平成30年度へ繰り越しとなる収入未済額は、土木費県補助金155万円でございます。委託金は6,167万2,736円で、1,055万6,359円、20.7%の増でございます。

35ページをお開きください。

15款財産収入の収入済額は2,444万4,917円で、前年度比マイナス576万4,696円、19.1%の減となっております。収入未済額は、市有地貸付収入45万6,968円でございます。

37ページをお願いします。

16款寄附金の収入済額は2億1,424万5,938円で、前年度に比べ324万6,281円、1.5%の増となっております。

39ページをお願いします。

17款繰入金は5億3,168万681円で、888万5,535円、1.7%の増となっております。

41ページをお願いします。

18款繰越金は6億7,884万9,171円で、前年度比マイナス1億1,035万4,107円、14.0%の減となっております。

43ページをお開きください。

19款諸収入の収入済額は1億6,165万9,788円で、前年度比マイナス5,168万8,374円、24.2%の減となっております。収入未済額2,403万5,945円は、保護費返還金、災害援護資金貸付金元利収入等によるものでございます。

47ページをお願いします。

20款市債は6億6,770万円で、前年度比7,720万円、13.1%の増となっております。収入未

済額2,950万円は、過疎対策事業債と現年発生補助災害復旧事業債で、翌年度への繰り越し事業に充てるものでございます。

以上で歳入についての説明は終わらせていただきます。

続きまして、歳出についての説明をさせていただきます。

53ページをお願いします。

1 款議会費でございますが、支出済額が1億1,319万186円、執行率は97.4%、前年度比151万3,131円、1.4%の増となっております。

55ページをお願いします。

2 款総務費でございますが、支出済額は18億1,277万3,189円、執行率は96.4%、前年度比マイナス8,804万2,231円、4.6%の減となっております。

1 項総務管理費は、前年度比マイナス1億4,412万4,410円、10.4%の減となっております。

79ページをお開きください。

15目新庁舎等建設対策費は、委託料1,595万2,140円で、新庁舎等建設基本計画策定業務や新庁舎等建設調査業務ほかの実施を行いました。

81ページをお開きください。

16目財政調整基金費は3億4,000万2,810円を積み立てしておりますが、4億1,509万9,000円を取り崩したため、平成29年度末現在高は9億9,398万8,122円でございます。

17目減債基金は9,300万17円を積み立て、平成29年度末残高は9,370万403円でございます。

20目ふるさと応援基金費でございますが、1億4,225万9,000円の寄附をいただき、のうち8,228万9,000円を積み立てしておりますが、4,040万円を取り崩したため、平成29年度末現在高は1億6,717万2,362円でございます。

91ページをお開きください。

4 項 3 目静岡県知事選挙費は、支出済額1,176万511円で、6月25日に選挙が執行され、投票率は48.82%でした。

93ページをお願いします。

4 項 5 目衆議院議員選挙費は、支出済額1,242万4,129円で、10月22日に選挙が執行され、投票率は56.45%でした。

99ページをお開きください。

8 項 1 目防災対策費のうち防災施設等整備事業、こちら内容は104ページからになっておりますが、こちらで昨年度に引き続き春日山遊歩道ほかの避難路・避難地整備として、津波

避難施設（折戸避難路）整備測量設計業務委託151万2,000円、津波避難施設（春日山遊歩道）整備工事1,725万4,080円、津波避難施設（春日山遊歩道歩道橋）修繕工事3,229万2,000円、津波避難施設（敷根避難路）整備測量設計業務委託529万2,000円を実施しました。

105ページをお願いします。

9項1目電算処理総務費では、基幹系と情報系のシステム管理を行い、また債務負担行為の基幹系システム構築業務委託1,695万6,000円により基幹系電算システム全体の更新改良業務を行いました。

107ページをお願いします。

3款民生費でございますが、支出済額は36億60万397円、執行率は95.5%で、前年度に比べ6,915万7,031円、2.0%の増となっております。

111ページをお願いします。

2目臨時福祉給付金給付事業費は、平成26年4月から消費税率改定に伴い、所得の低い方々への負担の影響を鑑み、暫定的、臨時的な措置として給付金を支給しており、支給決定者が4,512人、支給総額が6,768万円でございます。

117ページをお開きください。

7目福祉基金費のほのぼの福祉基金積立金は、一般市民からの寄附3件、16万円とふるさと納税518件、623万6,000円の合計639万6,000円を積み立て、380万円を取り崩したため、基金の平成29年度末現在高は3,445万7,650円でございます。

2項1目老人福祉総務費のうち老人福祉施設入所措置事業では、賀茂老人ホームほか3施設に28名の方が入所されております。なお、平成29年度末待機者数は2人です。在宅老人援護事業では、ひとり暮らし老人等へ給食サービスを登録者239人に対し、利用者延べ人員380人に5,439食を実施しました。

121ページをお開きください。

3目総合福祉会館費では、高齢者生きがいプラザの廃止を受けた機能移転と利便性の向上を図るため、1階特殊浴槽、2階教養娯楽室等の改修工事を3,112万8,840円で実施しました。

127ページをお開きください。

3項2目児童手当費では、受給者数1,065世帯、受給延べ児童数2万2,128人に対し、児童手当2億4,180万5,000円を支給しました。

3目保育所費では公立保育所1園、131ページをお開きください。4目民間保育所費では民間保育所2園、5目認定こども園費では公立の認定こども園1園の合計4施設で保育を実

施しました。

137ページをお開きください。

10目子育て支援基金費は、一般寄附1件、50万円とふるさと納税1,037件、985万1,000円及び発生利子1,583円の合計1,035万2,583円を積み立て、270万円を取り崩したため、平成29年度末現在高は7,169万5,775円でございます。

139ページをお開きください。

4項1目生活保護総務費でございますが、生活保護費支給事業の生活保護扶助費は6億8,029万2,143円で、うち医療扶助は3億9,213万6,452円、扶助金額に占める割合は57.6%となっております。平成29年度末の被保護者数は312世帯367人で、前年度より6世帯6人の減となっております。

145ページをお願いします。

4款衛生費でございますが、支出済額は9億4,605万4,724円、執行率は95.6%、前年度比3,645万2,888円、4.0%の増となっております。

147ページをお願いします。

1項2目予防費では、一般社団法人賀茂医師会と一般社団法人静岡県医師会の協力を得て各種予防接種を実施しました。平成26年10月から高齢者用肺炎球菌予防接種が定期予防接種化され、平成29年度は対象者2,006人に対し実施人員588人、接種率は29.3%となりました。

3目母子保健費では、妊婦健康診査を14回実施し、受診実人数は109人、延べ人数は1,124人でございました。不妊治療助成事業では、治療費助成額を10万円から30万円に、交通費も助成に加え、治療費分が14組、313万3,760円、交通費分9組、41万5,350円、総額354万9,110円の助成をしました。

149ページをお願いします。

5目病院費では、一部事務組合下田メディカルセンター負担金として1億2,353万6,000円、出資金として1,500万7,000円を支出しております。

2項1目保健対策費のうち健康増進事業では、早期発見早期治療を目的とし、各種がん検診を実施し、延べ7,076人が受診しました。

151ページをお開きください。

3項清掃費でございますが、平成29年度のごみ収集・持ち込み実績は9,801トンで、前年度より331トン減少し、1トン当たりのごみ処理経費は4万8,928円となり、前年度より7,340円増加しております。なお、可燃ごみ収集業務は民間委託契約に基づき民間委託で実

施し、年間の市収集可燃物4,375トンのうち4,342トンが民間委託での収集でございます。

163ページをお開きください。

5款農林水産業費でございますが、支出済額は2億776万8,895円で、執行率は95.5%、前年度比258万7,532円、1.3%の増となっております。

165ページをお開きください。

1項3目農業振興費のうち農業振興事業では、伊豆太陽農業組合、下田市農業振興会、地場野菜研究会等の活動を支援し、賀茂農林事務所と協議をしながら農業振興施策の推進を図るとともに、オリーブのまちづくり事業として耕作放棄地の活用と新たな農産物の導入による特産品づくりを目指しました。

171ページをお開きください。

2項1目林業振興費のうち有害鳥獣対策事業では、猿、鹿、イノシシの駆除に対する報償費として649頭分、342万円を支給しました。また、電気柵、防護柵等の設置者に対し47件、287万1,000円の補助を実施しました。

177ページをお願いします。

5目みどりの基金費では、水道事業会計からの繰入金30万円とふるさと納税分155万7,000円、利子771円、合計185万7,771円を積み立てし、126万2,000円を取り崩し、基金の平成29年度末現在高は3,176万4,500円でございます。

181ページをお開きください。

4項3目漁港建設改良費では、下田地区漁港機能保全計画に基づき、平成28年度からの繰り越し事業であります吉佐美漁港多々戸第1船揚場の機能保全整備工事を1,230万円で実施しました。

183ページをお開きください。

6款商工費でございますが、支出済額は2億8,010万2,184円、執行率は97.0%、前年度比2,064万7,384円、8.0%の増となっております。

1項2目商工振興費のうち、商工業振興事業では、住宅リフォーム振興助成金制度を実施し、合計16件、391万1,000円を助成しました。この事業の請負業者は市内27業者となっております。商店街活性化事業として、下田・南伊豆がんバル事業、きんめがど〜ん事業、下田ブランド策定事業の各事業を継続実施し、下田の食に関する情報発信とブランド力の向上に努めました。

187ページをお開きください。

2 項 2 目観光振興費のうち世界一の海づくり事業では、下田市自然体験活動推進協議会において、伊豆下田ブルーオーシャンムービーコンテスト開催のほか市内小学生とその家族を対象とした各種体験講座、下田ブルーオーシャンマリン講座を実施しました。

191ページをお開きください。

3 目観光施設管理費の伊豆半島ジオパーク推進整備事業では、静岡県観光施設整備事業の補助を受け、春日山遊歩道整備工事を2,859万8,400円で実施しました。

193ページをお開きください。

5 目世界一の海づくり基金費では、ふるさと納税665件、1,276万9,000円のうち返礼品分を除く725万4,000円と利子392円を積み立て、900万円の取り崩しの結果、基金の平成29年度末現在高は1,417万742円でございます。

7 款土木費でございますが、支出済額は10億2,205万3,523円、執行率は93.3%、前年度比マイナス818万9,701円、0.8%の減となっております。

195ページをお願いします。

1 項 2 目地籍調査事業では、三丁目の一部地区において、地籍調査業務のほか2件の業務委託を643万6,800円で実施しました。

197ページをお開きください。

2 項 1 目道路維持費では、市道吉佐美田牛線路側修繕工事ほか30件の道路維持補修工事を4,048万9,200円で施工し、市道伊勢町脇ノ田線側溝修繕工事ほか8件の請負契約を1,476万4,680円で締結し、241万円を執行し、予算額として1,235万5,000円を平成30年度に繰り越しました。また、平成26年度に実施した道路施設長寿命化推進のための道路ストック点検業務の結果に基づき、市道敷根1号線舗装改修工事を200万160円で実施しました。業務委託については、トンネルや橋の定期点検義務化に伴い、平成29年度は吉佐美、田牛トンネル定期点検業務を432万円、橋梁定期点検業務として48橋の点検を1,377万7,560円で実施しました。また、地域からの修繕要望に応え、市道壱々原線ほか40件を509万9,282円で修繕し、市道板見境ノ久保線ほか23件の原材料を79万9,046円で支給しました。

2 目交通安全施設整備費では、道路交通の安全性を確保するため防護柵、道路反射鏡の整備等、市道角栗線ほか8件、499万9,320円を施工しました。また、地域要望により、道路反射鏡、防護柵の修繕を市道赤間丸山線ほか4件について49万5,370円で実施しました。

4 目橋梁維持費では、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、ゆのもと橋耐震補強工事500万400円で実施したほか、宮渡戸橋架け替え工事（下部工）を平成29年度から平成30年度まで債務

負担行為として2年契約を1億4,000万400円で締結し、うち平成29年度に5,650万円を執行しました。また、宮渡戸橋架け替え工事（上部工）請負契約を7,000万200円で締結し、うち平成29年度に2,400万円を執行し、予算額として4,610万円を平成30年度に繰り越しました。

199ページをお開きください。

3項1目河川維持費では、維持補修工事として普通河川入条川護岸修繕工事ほか8件を749万5,200円で施工しました。また、地域の修繕要望に応え、護岸等の修繕を普通河川長久保川護岸修繕ほか1件について29万8,080円で実施しました。

201ページをお開きください。

5項1目都市計画総務費のうち都市計画マスタープラン推進事業では、地域別構想プロジェクト推進業務を302万4,000円で委託し、地域別まちづくり実践会議を3地区で合計9回開催しております。歴史的風致維持向上計画策定支援業務は280万8,000円で委託し、歴史的風致の背景の整理、歴史的風致の維持向上に関する課題及び方針の整理等を行いました。また、市道立野お吉ヶ淵線修景舗装工事を2,465万6,400円で実施しました。

203ページをお開きください。

2目伊豆縦貫道建設促進費では、伊豆縦貫自動車道、河津下田道路を1期区間の用地事務委託を国土交通省中部地方整備局から受け、用地交渉・用地補償契約を行いました。伊豆縦貫自動車道の本線開通に向け、将来の道路交通網構築協議を国・県の関係機関と進めるとともに、都市計画道路、施設について見直し作業を行う必要があるため、下田都市計画原案策定業務を195万4,800円で委託し、都市計画決定の変更を完了しました。また、円滑な事業遂行及び建設発生土の有効活用を図るため、活用候補地の測量調査業務委託を792万1,800円で実施しました。

207ページをお開きください。

4目都市公園費では、敷根公園について公益財団法人下田市振興公社に6,752万1,000円で管理委託しました。また、公園全体で513万5,302円の修繕を実施しました。

6目景観まちづくり基金費は、ふるさと納税分442件、510万円と利子分498円を積み立て、20万8,785円を取り崩し景観まちづくり助成金に充てたため、基金の平成29年度末現在高は2,466万8,828円でございます。

209ページをお開きください。

7項2目耐震改修促進費では、木造住宅補強計画策定4件に48万円、木造住宅の耐震補強4件に360万円、ブロック塀の撤去1件に10万円、平成28年度から繰越明許として特定建築

物の耐震計画策定 1 件に600万円の補助を実施しました。

211ページをお開きください。

8 款消防費でございますが、支出済額 4 億7,955万6,233円、執行率は99.3%、前年度比マイナス 1 億2,718万9,699円、21.0%の減となっております。

215ページをお開きください。

3 目消防施設費では、第 6 分団第 1 部のポンプ自動車を更新し、旧車両は静岡県を通じ台湾内政部消防署訓練センターに寄贈しました。

○議長（竹内清二君） 恐れ入ります。説明の途中ですが、ここで10分間休憩したいと思います。

午前 1 0 時 5 9 分休憩

---

午前 1 1 時 9 分再開

○議長（竹内清二君） 休憩を閉じ会議を再開いたします。

休憩前に引き続き説明を続けます。

会計管理者。

○会計管理者兼出納室長（鈴木光男君） それでは、215ページから続けさせていただきます。

9 款教育費でございますが、支出済額 7 億1,537万981円、執行率は96%、前年度比マイナス 1 億6,865万6,180円、19.1%の減となっております。

221ページをお開きください。

1 項 5 目教育振興基金費は、ふるさと納税により寄附を受けた293件、511万5,000円と一般からの寄附 1 件、50万円、合計561万5,000円のうち返礼品分を差し引いた343万円と利息の479円を積み立てし、取り崩しは外国語指導助手謝礼241万4,000円で、基金の平成29年度末現在高は2,024万511円でございます。

6 目奨学振興基金費は、ふるさと納税により寄附を受けた165件、370万5,000円のうち返礼品分を差し引いた204万円と利息の1,471円を積み立てし、取り崩しは就学奨励交付金として110万円、中学生のニューポート市派遣事業補助金117万1,880円、教育資金利子補給事業補助金21万9,873円、体験プログラム事業補助金220万円、英語力向上プロジェクト補助金130万円、平成29年度より開始した英語検定受験推進補助金52万200円、プログラミング教室開校準備経費101万5,522円の合計752万7,475円で、基金の平成29年度末現在高は5,347万4,806円でございます。

7 目学校施設整備基金費は、学校施設を適正に維持するため設置したもので、利子分 3,751円を積み立て、平成29年度末現在高は1億5,000万3,751円でございます。

2 項 1 目小学校管理費では、児童と車両通行の安全確保を図るため、稲梓小学校通路改修工事を2,010万9,600円で実施し、小学校屋内運動場改修工事として静岡県の緊急地震・津波対策等交付金と市町村振興協会の地震・津波対策事業交付金を受け、稲梓小学校と白浜小学校の屋内運動場の窓ガラス飛散防止工事を800万9,280円で行い、児童の安全確保と避難場所ともなる屋内運動場の防災機能の向上をさせました。また、静岡縣市町村振興協会の助成を受け、稲梓、下田、朝日の小学校3校でトイレ洋式化の工事を498万960円で実施し、その他工事として下田小学校運動場避難路整備工事を実施しました。

227ページをお開きください。

3 項 1 目中学校管理費では、静岡縣市町村振興協会の助成を受け、下田東中学校屋内運動場トイレ洋式化工事を185万1,120円で実施し、ほかに中学校トイレ改修工事を399万9,240円で実施しました。

231ページをお開きください。

3 項 3 目中学校再編整備事業では、（債務負担行為）新中学校整備基本計画策定業務を440万1,000円で、（債務負担行為）下田中学校耐力度調査業務を205万2,000円で契約し、事業開始しました。

239ページをお開きください。

5 項 5 目公民館費ですが、公民館管理運営につきまして6公民館の利用者数が4万5,555人で、前年度と比較し1万702人増で、とりわけ中央公民館で7,939人の増となっております。

251ページをお開きください。

8 項 1 目市民文化会館費では、小ホール舞台設備コンセント交換等の修繕を649万1,880円で実施し、移動用音響機材（スピーカーシステム）を596万1,600円で購入しました。

10款災害復旧費でございますが、支出済額は8,009万6,464円、執行率は92.6%、前年度比7,484万7,664円、1,426%の増となっております。

259ページをお開きください。

11款公債費でございますが、支出済額は7億7,198万5,394円で、執行率は99.9%で、前年度比4,880万8,727円、6.7%の増となっております。

12款予備費につきましては、備考欄記載のとおり84件、3,913万7,000円の予備費充用を行っております。

265ページをお開きください。

実質収支に関する調書でございます。

歳入歳出差引額は6億7,574万1,066円から翌年度へ繰り越すべき財源として、繰越明許費繰越額1,016万7,000円を差し引きました実質収支額は6億6,557万4,066円となりました。

266ページをお開きください。

財産に関する調書でございますが、（１）土地及び建物について説明させていただきます。

土地の主な増減は、蓮台寺の公園整備予定地を寄附採納したものの増と、加増野の山林、雑種地等を売却したことによる減でございます。建物の主な増減は、消防団旧詰所の譲渡1件、解体4件、柳原住宅の解体、それから木造建物寄附による増減でございます。

268ページをお開きください。

（２）山林は、立木の推定蓄積量の増でございます。

（３）物権から（６）有価証券までと、270ページ、２の物品から274ページ、３、債権までは記載のとおりでございますので、説明を省略させていただきます。

275ページから276ページをご覧ください。

４、基金でございますが、基金の決算年度末現在高合計は23億4,102万590円でございます。各基金の決算年度中増減高及び決算年度末現在高は記載のとおりでございます。

以上で認第１号 平成29年度下田市一般会計歳入歳出決算認定についての説明を終わらせていただきます。

続きまして、認第２号 平成29年度下田市稲梓財産区特別会計歳入歳出決算認定についてご説明申し上げます。

278ページから281ページをご覧ください。

決算の状況ですが、歳入決算額276万1,476円、歳出決算額86万6,929円、歳入歳出差引額は189万4,547円、予算現額に対する執行率は、歳入128.5%、歳出が40.3%でございます。

次に、歳入歳出決算事項別明細書により補足説明をさせていただきます。

282ページをお願いします。

歳入につきましては、１款１項１目財産貸付収入は、調定額、収入済額とも56万6,748円で、山葵田用地等の貸付料でございます。

２項１目不動産売払収入は、立木売払分収金61万5,888円でございます。

284ページをお願いします。

歳出につきましては、財産区管理費と基金積立金でございます。

289ページ、290ページをお願いします。

財産に関する調書でございますが、（２）山林では、立木の推定蓄積量が前年度より1,332立方メートル増加しております。

財政調整基金は、決算年度中に63万7,804円を積み立て、決算年度末現在高は180万45円でございます。

以上で認第２号 平成29年度下田市稲梓財産区特別会計歳入歳出決算認定についての説明を終わらせていただきます。

続きまして、認第３号 平成29年度下田市下田駅前広場整備事業特別会計歳入歳出決算認定についてご説明申し上げます。

291ページから294ページをご覧ください。

決算の状況ですが、歳入決算額が902万2,877円、歳出決算額692万1,688円、歳入歳出差引額は210万1,189円、予算現額に対する執行率は、歳入103.5%、歳出が79.4%でございます。

続きまして、歳入歳出決算事項別明細書により補足説明をさせていただきます。

295ページをお願いします。

歳入の１款１項１目広場使用料につきましては、調定額、収入済額とも679万9,118円で、バス会社２社、タクシー会社３社及び地中管路等の駅前広場占用料でございます。

297ページをお願いします。

歳出の１款１項１目総務管理費におきまして171万2,340円の修繕を実施し、３款１項１目下田駅前広場整備事業基金積立金では50万69円を積み立てしました。

300ページをお願いします。

財産に関する調書の内容でございますが、下田駅前広場整備事業基金は50万69円の積み立ての結果、決算年度末現在高が3,200万69円でございます。

以上で認第３号 平成29年度下田市下田駅前広場整備事業特別会計歳入歳出決算認定についての説明を終わらせていただきます。

続きまして、認第４号 平成29年度下田市公共用地取得特別会計歳入歳出決算認定についてご説明申し上げます。

302ページから305ページまでをご覧ください。

決算の状況は、歳入決算額318万4,939円、歳出決算額318万4,939円、歳入歳出差引額はゼロ円で、予算現額に対する執行率は歳入歳出とも99.8%でございます。

続きまして、歳入歳出決算事項別明細書により補足説明させていただきます。

306ページをお願いします。

歳入の1款1項1目財産貸付収入は、下田駅前旧バスターミナル用地、下田公園隣接地におきます市有地貸付収入318万4,153円でございます。

308ページをお願いします。

歳出の2款1項1目土地開発基金繰出金は、市有地貸付収入318万4,153円と預金利子786円を土地開発基金へ積み立てたものでございます。

311ページをお願いします。

財産に関する調書でございますが、土地開発基金は積み立ての結果、決算年度末の現在高は現金2億6,657万507円で、公共用地取得特別会計貸付金につきましては決算年度中の増減がなく、現在高は1億9,400万円でございます。

以上で認第4号 平成29年度下田市公共用地取得特別会計歳入歳出決算認定についての説明を終わらせていただきます。

続きまして、認第5号 平成29年度下田市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定についてご説明申し上げます。

313ページから318ページをご覧ください。

決算の状況は、歳入決算額が41億6,494万1,309円、歳出決算額39億3,149万8,558円、歳入歳出差引額は2億3,344万2,751円で、予算現額に対する執行率は、歳入100.8%、歳出は95.2%でございます。

続きまして、歳入歳出決算事項別明細書により補足説明をさせていただきます。

319ページをお開きください。

歳入の主なものを申し上げますと、1款国民健康保険税は、収入済額7億152万3,519円、不納欠損額2,610万6,113円、収入未済額2億6,367万2,143円となり、前年度に比べ収入済額でマイナス4,745万9,409円、6.3%の減でございます。

321ページをお開きください。

3款国庫支出金は、収入済額7億6,613万1,006円でございます。前年度比マイナス6,079万3,977円、7.4%の減でございます。

323ページをお開きください。

4款療養給付費交付金は、収入済額5,010万円で、前年度比マイナス2,852万5,000円、36.3%の減でございます。

5款前期高齢者交付金は、収入済額10億2,406万2,437円で、前年度比2億661万3,740円、

25.3%の増でございます。

6 款県支出金は、収入済額 1 億7,661万5,471円でございます。前年度比マイナス1,252万437円、6.6%の減でございます。

7 款共同事業交付金は、収入済額 7 億6,976万6,083円でございます。前年度比マイナス6,616万4,927円、7.9%の減でございます。

325ページをお開きください。

9 款繰入金は、収入済額 2 億6,885万4,412円で、前年度比マイナス 1 億325万1,457円、27.7%の減でございます。

次に、歳出について申し上げます。

331ページをお開きください。

1 款総務費の支出済額は5,770万93円で、前年度比680万5,236円、13.4%の増でございます。

335ページをお願いします。

2 款保険給付費の支出済額は21億6,615万1,605円で、前年度比マイナス5,004万9,129円、2.3%の減でございます。

なお、平成29年度の被保険者数は、平成30年 3 月末時点で4,515世帯、7,082人、前年度と比較しますと世帯数は211世帯の減、被保険者数は455人の減となりました。また、保健事業として特定健康診査を15会場で38回行い、1,601人の受診がありました。

346ページをお願いします。

財産に関する調書でございますが、国民健康保険診療報酬支払準備基金は 3 億1,936円積み立てしたことにより、決算年度末現在高は 5 億1,184万3,356円でございます。

以上で認第 5 号 平成29年度下田市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について説明を終わらせていただきます。

次に、認第 6 号 平成29年度下田市介護保険特別会計歳入歳出決算認定についてご説明申し上げます。

347ページから350ページをご覧ください。

決算の状況は、歳入決算額26億326万6,496円、歳出決算額は25億10万3,382円、歳入歳出差引額は 1 億316万3,114円で、予算現額に対する執行率は、歳入92.0%、歳出は88.3%でございます。

続きまして、歳入歳出決算事項別明細書により補足説明を行います。

351ページをお開きください。

歳入の主なものを申し上げます。

1 款保険料は、収入済額 5 億859万9,000円、不納欠損額893万4,500円、収入未済額1,458万5,800円でございます。収入額を前年度と比較しますと287万6,900円、0.6%の増でございます。

3 款国庫支出金は、収入済額 5 億7,423万3,579円でございます。前年度比132万6,298円、0.2%の増でございます。

353ページをお開きください。

4 款支払基金交付金は、収入済額 5 億7,471万1,461円で、前年度比マイナス6,303万9,392円、9.9%の減でございます。

5 款県支出金は、収入済額 3 億5,691万7,885円で、前年度比マイナス421万368円、1.2%の減でございます。

355ページをお開きください。

8 款繰入金は、収入済額 4 億6,067万7,200円で、前年度比4,846万7,200円、11.8%の増でございます。

次は、歳出でございます。

359ページをお願いします。

1 款総務費の支出済額は7,088万8,376円で、前年度比755万4,174円、11.9%の増でございます。

361ページをお願いします。

3 項 1 目介護認定審査会費は、支出済額474万9,115円で、介護認定審査会を48回開催し、1,274件の審査を行っております。

363ページをお願いします。

2 款保険給付費は、支出済額22億213万1,699円で、前年度比マイナス1,059万9,336円、0.5%の減となっており、給付につきましては居宅介護サービスを初め各種介護サービスを行い、3万207件の利用がありました。

380ページをお開きください。

財産に関する調書でございますが、介護保険介護給付費準備基金は5,489万9,374円を積み立てし、4,952万8,000円を取り崩したことにより、決算年度末現在高は1億2,669万6,826円でございます。

以上で認第6号 平成29年度下田市介護保険特別会計歳入歳出決算認定についての説明を終わらせていただきます。

次に、認第7号 平成29年度下田市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定についてご説明申し上げます。

381ページから384ページをご覧ください。

決算の状況ですが、歳入決算額3億3,808万612円、歳出決算額3億3,418万4,112円、歳入歳出差引額は389万6,500円で、予算現額に対する執行率は、歳入99.9%、歳出は98.8%でございます。

続きまして、歳入歳出決算事項別明細書により補足説明させていただきます。

385ページをお願いします。

歳入ですが、1款後期高齢者医療保険料は、収入済額2億4,563万4,600円、不納欠損額141万4,400円、収入未済額408万8,000円でございます。収入額を前年度と比較しますと749万9,900円、3.1%の増でございます。

3款繰入金は、収入済額8,641万1,514円でございます。前年度比304万5,421円、3.7%の増でございます。

次は、歳出です。

389ページをお願いします。

1款総務費の支出済額は1,312万8,500円で、前年度比マイナス28万7,302円、2.1%の減でございます。

2款1項1目後期高齢者医療広域連合納付金の支出済額は3億1,630万4,514円で、前年度比1,101万921円、3.6%の増でございます。

なお、後期高齢者医療制度被保険者の平成29年度末被保険者数は4,530人で、前年度と比べ19人の減となりました。

394ページをお開きください。

財産に関する調書でございますが、決算年度中の増減はございませんでした。

以上で認第7号 平成29年度下田市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定についての説明を終わらせていただきます。

次に、認第8号 平成29年度下田市集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定についてご説明申し上げます。

395ページから398ページをご覧ください。

決算の状況ですが、歳入決算額4,391万7,857円、歳出決算額4,128万4,020円、歳入歳出差引額は263万3,837円で、予算現額に対する執行率は、歳入99.8%、歳出は93.8%でございます。

続きまして、歳入歳出決算事項別明細書により補足説明させていただきます。

399ページをお開きください。

歳入の主なものを申し上げますと、1款使用料及び手数料は、収入済額277万7,313円で、前年度比マイナス7万8,547円、2.8%の減でございます。

2款県支出金は、収入済額1,680万円で、漁業集落環境整備費県補助金で前年度比980万円、140%の増でございます。

4款繰入金は、収入済額1,360万円で、前年度比60万円、4.6%の増でございます。

403ページをお開きください。

歳出でございます。

2款事業費でございます。漁業集落環境整備事業では、機能保全計画に基づき田牛地区排水処理施設機能保全整備工事を2,400万円で実施しました。なお、平成29年度末の使用者戸数は92戸でございます。

408ページをお願いします。

財産に関する調書でございます。決算年度中の増減はございませんでした。

以上で認第8号 平成29年度下田市集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定についての説明を終わらせていただきます。

次に、認第9号 平成29年度下田市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定についてご説明申し上げます。

410ページから413ページをお願いします。

決算の状況は、歳入決算額11億5,347万8,088円、歳出決算額11億898万2,584円、歳入歳出差引額は4,449万5,504円で、予算現額に対する執行率は、歳入96.9%、歳出93.1%でございます。

続きまして、歳入歳出決算事項別明細書により補足説明させていただきます。

414ページをお開きください。

歳入でございますが、1款分担金及び負担金は、収入済額631万6,190円、不納欠損額9万7,000円、収入未済額84万9,830円でございます。収入額を前年度と比較しますと446万4,000円、241%の増でございます。

2 款使用料及び手数料、収入済額 1 億4,963万8,949円、不納欠損額24万1,149円、収入未済額252万2,426円でございます。収入額を前年度と比較しますと416万2,159円、2.9%の増でございます。

3 款国庫支出金は、収入済額8,070万円でございます。前年度比マイナス2,410万円、23.0%の減でございます。なお、収入未済額の1,730万円は繰越明許費事業の財源でございます。

5 款繰入金は、収入済額 5 億円で、前年度比マイナス2,000万円、3.8%の減でございます。

6 款繰越金は、収入済額4,796万3,468円でございます。

416ページをお開きください。

7 款諸収入は、収入済額225万9,481円で、前年度比222万1,766円、5,890%の増でございます。主な要因は、水道事業会計から共同施工負担金223万6,680円を受け入れたことによるものです。

8 款市債は、収入済額 3 億6,660万円で、前年度比マイナス2,030万円、5.2%の減となっており、収入未済額の1,920万円は繰越明許費事業の財源でございます。なお、平成29年度末の市債現在高は58億148万396円で、前年度よりマイナス 2 億6,081万6,082円、4.3%の減となっております。

次は、歳出でございます。

418ページをお開きください。

1 款業務費は、支出済額 1 億8,417万2,899円は前年度比1,445万328円、8.5%の増となりました。

420ページをお開きください。

1 款 2 項 2 目処理場ポンプ場費のうち下水道施設管理事業では、下水道施設の維持管理のため下水道施設包括的維持管理業務委託 1 億1,734万2,000円及び下水道施設維持管理契約履行監視業務委託432万円を実施しました。

422ページをお願いします。

2 款事業費では、支出済額 1 億9,306万4,653円は前年度比マイナス2,563万8,221円、11.7%の減となりました。

1 項 1 目公共事業費では、下水道法改正に伴い下水道事業計画変更の必要が生じたため、公共下水道整備計画検討業務委託を1,382万4,000円で実施しました。幹線管渠築造工事は2,505万5,040円で77.0メートルの工事を実施し、1,510万円は平成30年度へ繰越明許を行い

ました。

2 目単独事業費では、枝線管渠築造工事を892万8,360円で81.2メートルの工事を実施しました。この結果、平成29年度末における整備済み面積は283.65ヘクタールとなり、計画面積314.2ヘクタールに対し90.3%の整備率となりました。なお、供用及び処理開始面積も283.65ヘクタールとなりました。

424ページをお願いします。

3 目更新事業費では、委託料7,528万5,720円で下水道施設等耐震対策業務委託及びストックマネジメント計画策定業務委託を実施し、耐震対策業務委託のうち2,749万円は平成30年度へ繰越明許を行い、下水道施設更新工事を4,977万9,360円で実施しました。

429ページをお願いします。

財産に関する調書でございますが、1の(2)下水道施設、管渠158.20メートルが増加しております。

3、債権でございますが、新規に下水道受益者負担金439万2,000円を計上し、決算年度末現在高は439万2,000円でございます。これは平成28年度まで、決算書に収入未済額納期未到来分として計上されていた下水道受益者負担金を債権として計上したものです。

以上で認第9号 平成29年度下田市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について説明を終わらせていただきます。

認第1号 平成29年度下田市一般会計歳入歳出決算認定についてから認第9号 平成29年度下田市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定についてまでの9件について、説明を終わらせていただきます。

ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長（竹内清二君） 上下水道課長。

○上下水道課長（長谷川忠幸君） それでは、認第10号 平成29年度下田市水道事業会計歳入歳出決算認定につきましてご説明申し上げます。

議案件名簿の10ページをお開きください。

本決算につきましては、地方公営企業法第30条第4項の規定に基づきまして、同会計決算を別紙監査委員の意見をつけて、議会の認定に付するものでございます。

水色の下田市水道事業会計決算書のご用意をお願いいたします。

決算書の1ページをお開きください。

平成29年度下田市水道事業報告書でございます。

1、概況、（１）の総括事項でございます。

下田市水道事業におけます本年度の年間有収水量は345万6,293立方メートルと、前年度に比べ9,637立方メートル、0.3%の増となりました。

総配水量は419万8,011立方メートルで、有収率82.3%となりまして、前年度に比べ5.3%の減となりました。

また、年度中の配水管破損件数は26件と前年度に比べ10件の減となりました。本年度も漏水調査を行い、漏水防止に努めるとともに、石綿管布設がえ工事を実施いたしました。

水道水源保護条例に基づく合併処理浄化槽設置事業に対しまして10件、75万6,000円の補助を交付いたしました。

アの収益的収支の状況でございます。

事業収益は6億6,039万6,333円で、前年度に比べ1,078万7,182円、1.7%の増、事業費用は5億7,256万8,610円で、前年度に比べ132万1,294円、0.2%の増となりました。この結果、経常利益が8,782万7,723円、当年度純利益も同額の8,782万7,723円となりました。

収益の主な内容は、営業収益における給水収益6億778万518円で、前年度に比べ555万3,261円、0.9%の増、供給単価1立方メートル当たり175円85銭で、前年度に比べ1円12銭の増となりました。

また、受託工事収益は1,031万2,619円と前年度に比べ273万4,283円、36.1%の増、その他営業収益は865万1,118円で、前年度に比べ91万7,662円、11.9%の増となりました。

営業外収益のうち他会計繰入金は904万9,000円で、主なものは、消火栓維持管理負担金187万7,000円、課長兼務負担金300万円、経営戦略策定負担金367万2,000円でございます。

一方、費用につきましては、前年度に比べ人件費が9.8%の減、支払利息が11.8%の減、減価償却費が0.5%の減、動力費が6.8%の増、薬品費が8.8%の増、路面復旧費が30.6%の増となり、給水原価は1立方メートル当たり154円37銭と前年度に比べまして11銭の減となりました。この結果、有収水量1立方メートル当たりの利益は21円48銭となりました。

続きまして、2ページをお開きください。

イの資本的収支の状況でございます。

資本的収入1億7,849万4,000円、資本的支出4億9,275万2,599円の事業執行となりました。収入の主な内訳といたしましては、企業債1億5,950万円、他会計からの出資金100万円、県補助金1,799万4,000円でございます。

次に、支出の主な内訳といたしまして、改良工事費が総額1億4,429万891円で、各地区送

配水管改良工事、長瀬取水場導水ポンプ改良工事が主たる工事で、配水管改良工事におきましては、石綿管1,101メートルの布設がえを行いました。

また、6次拡張事業は総額9,679万680円で、上大沢地区配水管拡張工事、須原地区配水管拡張工事（茅原野）、須原地区配水管拡張工事（入谷）及び茅原野増圧ポンプ場建設工事を行いました。

なお、資本的収入が資本的支出に不足する額3億1,425万8,599円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額1,720万8,572円、当年度損益勘定留保資金2億2,946万5,574円、過年度損益勘定留保資金2,299万8,000円、減債積立金4,458万6,453円で補填を行いました。

本年度における消費税及び地方消費税は、1,935万2,500円の納付額となりました。

3ページをご覧ください。

ウの各年度給水原価算出表と、エの各年度供給単価算出表は、平成20年度から平成29年度までの一覧でございます。

4ページをお開きください。

4ページは、平成29年度の議会議決事項と行政官庁許認可事項の一覧表でございます。

5ページをご覧ください。

5ページは、職員に関する事項でございます。平成29年度につきましては、条例定数14名に対し、前年度に比べ1名減、職員10名と臨時職員3名によりまして業務を行っております。

6ページをお願いいたします。

6ページは、資産取得表と受贈財産取得表でございます。改良工事費の概況につきましては7ページ、8ページに第6次拡張事業費、そして下段に固定資産購入の状況を列記してございますので、ご確認のほどをお願いいたします。

9ページをご覧ください。

保存工事の概況でございます。こちらもご確認のほうをお願いいたします。

10ページをお開きください。

3、業務、（1）業務量、ア、平成29年度業務量を列記してございます。これは水道事業報告書の総括事項で概要を報告させていただきましたので、ご確認のほどをお願いいたします。

11ページをご覧ください。

上段は、月別有収水量でございます。下段は、事業収入に関する事項で、アの事業収益といたしまして、営業収益、営業外収益各項目の金額、構成比と前年度比較を行っております。

12ページをご覧ください。

上の表は、給水収益と普通給水と特別給水の区分になっております。下の表は、事業に関する事項のうち事業費用でございます。営業費用と営業外費用各項目の金額、構成比、前年度比較を行っております。

次に、13ページは、費用構成の表でございます。項目の構成比や有収水量1立方メートル当たりの単価と前年度比較を行っております。

14ページをお開きください。

4、会計、（1）企業債及び一時借入金の概況でございます。

企業債の平成28年度末残高は29億6,423万1,142円で、平成29年度中の借入高が1億5,950万円、償還高は2億4,629万3,696円で、平成29年度末の企業債残高は28億7,743万7,446円となるものでございます。イの一時借入金につきましては、29年度中の借り入れはございませんでした。

次に、（2）その他会計経理に関する重要事項でございます。

まず、アの棚卸資産でございますが、本年度末残高は1,851万5,629円で、棚卸資産購入額は930万4,030円でございます。

イの他会計借入金はございません。

ウの消費税につきましては、冒頭、総括事項で報告させていただきましたが、内訳を記載しております。

15ページをお開きください。

これより決算書となります。

平成29年度下田市水道事業決算報告でございます。予算に対する執行状況をあらわしております。冒頭、事業報告と重複もございますが、説明をさせていただきます。

（1）収益的収入及び支出でございます。これは税込みで表示しております。

収入でございますが、1款水道事業収益は、予算額7億1,183万4,000円に対しまして、決算額7億1,051万3,200円で、収入率は99.8%でございます。その内訳といたしまして、決算額で1項営業収益6億7,687万8,949円、2項営業外収益3,363万4,251円、3項特別利益はございません。

次に、支出で、1款水道事業費用は、予算額6億6,009万5,000円に対しまして、決算額は6億478万7,718円で、執行率は91.6%でございます。その内訳といたしまして、決算額で1項営業費用は5億1,791万9,839円、2項営業外費用は8,686万7,879円、3項特別損失はございませんでした。

16ページをお開きください。

(2)の資本的収入及び支出でございます。ここも税込みでの表記をしてございます。

収入でございますが、1款資本的収入は、予算額2億9,249万7,000円に對しまして、決算額1億7,849万4,000円で、収入率は61%でございます。その内訳といたしましては、決算額で1項企業債は1億5,950万円、2項他会計からの出資金は100万円、3項水道負担金はございません。4項県費補助金は1,799万4,000円でございます。5項固定資産売却代金、6項負担金はございません。

次に、支出でございます。

1款資本的支出は、予算額6億362万2,000円に對しまして、決算額4億9,275万2,599円で執行率は81.6%でございます。その内訳といたしましては、決算額で1項建設改良費は2億4,475万5,348円、2項企業債償還金は2億4,629万3,696円、3項その他資本的支出は170万3,555円でございます。

17ページをご覧ください。

平成29年度下田市水道事業損益計算書で、ここに記載されている金額は税抜きで金額でございます。

1項営業収益は6億2,674万4,255円、2の営業費用は5億507万3,464円で、営業利益は1億2,167万791円となるものでございます。

次に、3の営業外収益は3,365万2,078円、4の営業外費用が6,749万5,146円で、経常利益が8,782万7,723円となり、5の特別利益、6の特別損失はなく、当年度純利益は8,782万7,723円となるものでございます。前年度繰越利益剰余金はなく、その他未処分利益剰余金変動額が4,458万6,453円でございます。当年度未処分利益剰余金は1億3,241万4,176円となるものでございます。

次に、18ページ、19ページをお開き願います。

平成29年度下田市水道事業剰余金計算書でございます。こちらも消費税抜きの金額となっております。

まず、資本剰余金でございますが、当年度は変動はございません。その結果、平成29年度末残高は144万4,400円となるものでございます。

次に、利益剰余金でございます。

まず、減債積立金は、前年度処分後の残高2億7,955万407円から当年度減債積立金の取り崩し4,458万6,453円を差し引いた2億3,496万3,954円が当年度末の残高でございます。

建設改良積立金は当年度の積み立て等はなく、残高3,000万円でございます。

当年度未処分利益剰余金は、前年度処分後の残高はゼロで、減債積立金取り崩し額4,458万6,453円に当年度の純利益8,782万7,723円を加えた1億3,241万4,176円が当年度末の残高となります。

次に、18ページ下段の平成29年度下田市水道事業剰余金処分計算書でございます。

地方公営企業法第32条第2項及び第3項の規定によりまして、本年6月の定例市議会にて処分の議決をいただき、未処分利益剰余金につきまして、資本金への組み入れと減債積立金への積み立てを行ったものでございます。

次に、20ページをお開きください。

平成29年度下田市水道事業貸借対照表でございます。

資産の部で、資産合計は末尾に記載してございます金額64億4,880万3,235円で、前年度決算に比べまして464万4,750円の減となっております。

21ページをご覧ください。

負債の部で、負債合計は34億2,759万2,338円でございます。

22ページをお開きください。

次に、資本の部で、資本合計は30億2,121万897円となりまして、負債資本合計は64億4,880万3,235円で、前のページの資産合計の額と一致し、貸借対照表は符合しているものでございます。

続きまして、23ページをご覧ください。

平成29年度下田市水道事業キャッシュ・フロー計算書でございます。

キャッシュ・フロー計算書は、業務活動、投資活動、財務活動の3つの区分に分け、それぞれの活動により資金がどのように増減したかを示すものでございます。

業務活動によるキャッシュ・フローが3億3,007万7,153円、投資活動によるキャッシュ・フローがマイナス2億1,125万6,331円、財務活動によるキャッシュ・フローがマイナス8,579万3,696円となり、資金増加額が3,302万7,126円となるものでございます。平成29年度資金期首残高2億5,666万4,975円に資金増加額を加えますと資金期末残高は2億8,969万2,101円となるものでございます。

次に、24ページの注記でございますが、地方公営企業法施行規則第35条に基づきまして添付してございます。

次に、25ページから36ページにつきましては附属書類でございますので、後ほどご覧いた

だきたいと思います。

以上、雑駁な説明ではございますが、認第10号 平成29年度下田市水道事業会計歳入歳出決算認定につきまして説明を終わらせていただきます。

よろしくご審議のほどお願い申し上げます

○議長（竹内清二君） 会計管理者。

○会計管理者兼出納室長（鈴木光男君） ここでおわびが1件ございます。

稲梓財産区特別会計歳入歳出決算書のほうで、ページは289ページでございます。基金の説明をいたしまして、決算年度末現在高を1,800万45円と申し上げるところを読み間違いをいたしまして、先ほど180万45円と申し上げてしまいました。申しわけございませんでした。訂正させていただきます。

○議長（竹内清二君） ここで1時15分まで休憩いたします。

午後 0時12分休憩

---

午後 1時15分再開

○議長（竹内清二君） 休憩を閉じ会議を再開いたします。

認第1号より認第10号までの当局の説明は終わりました。

これより各議案ごとに質疑を行います。

まず、認第1号 平成29年度下田市一般会計歳入歳出決算認定についてに対する質疑を許します。

質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（竹内清二君） 質疑はないものと認めます。

これをもって、認第1号に対する質疑を終わります。

次に、認第2号 平成29年度下田市稲梓財産区特別会計歳入歳出決算認定についてに対する質疑を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（竹内清二君） 質疑はないものと認めます。

これをもって、認第2号に対する質疑を終わります。

次に、認第3号 平成29年度下田市下田駅前広場整備事業特別会計歳入歳出決算認定についてに対する質疑を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（竹内清二君） 質疑はないものと認めます。

これをもって、認第3号に対する質疑を終わります。

次に、認第4号 平成29年度下田市公共用地取得特別会計歳入歳出決算認定についてに対する質疑を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（竹内清二君） 質疑はないものと認めます。

これをもって、認第4号に対する質疑を終わります。

次に、認第5号 平成29年度下田市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定についてに対する質疑を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（竹内清二君） 質疑はないものと認めます。

これをもって、認第5号に対する質疑を終わります。

次に、認第6号 平成29年度下田市介護保険特別会計歳入歳出決算認定についてに対する質疑を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（竹内清二君） 質疑はないものと認めます。

これをもって、認第6号に対する質疑を終わります。

次に、認第7号 平成29年度下田市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定についてに対する質疑を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（竹内清二君） 質疑はないものと認めます。

これをもって、認第7号に対する質疑を終わります。

次に、認第8号 平成29年度下田市集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定についてに対する質疑を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（竹内清二君） 質疑はないものと認めます。

これをもって、認第8号に対する質疑を終わります。

次に、認第9号 平成29年度下田市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定についてに対する質疑を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（竹内清二君） 質疑はないものと認めます。

これをもって、認第9号に対する質疑を終わります。

次に、認第10号 平成29年度下田市水道事業会計歳入歳出決算認定についてに対する質疑を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（竹内清二君） 質疑はないものと認めます。

これをもって、認第10号に対する質疑を終わります。

以上で認第1号から認第10号までの各会計の決算認定に対する質疑は終了いたしました。

お諮りいたします。

ただいま議題となっております認第1号から認第10号までの平成29年度下田市各会計の歳入歳出決算10件につきましては、6人の委員をもって構成する決算審査特別委員会を設置し、ここに付託したいと思います。これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（竹内清二君） ご異議はないものと認めます。

よって、6人の委員をもって構成する決算審査特別委員会を設置し、これに付託することと決定いたしました。

---

#### ◎決算審査特別委員会委員の選任

○議長（竹内清二君） ただいま設置することに決まりました決算審査特別委員会の委員の選任については、委員会条例第8条第1項の規定に基づき、議長により指名いたします。

1番 進士為雄君、3番 橋本智洋君、4番 滝内久生君、6番 小泉孝敬君、10番 土屋 忍君、13番 沢登英信君、以上の6名を決算審査特別委員会の委員に指名し、選任いたします。

ここで、ただいま選任されました委員の方は、決算審査特別委員会の正・副委員長を互選していただくため、委員会を開催していただきたいと思います。

委員の方は第1委員会室へお集まりください。

ここで暫時休憩いたします。

午後 1時18分休憩

---

午後 1 時 2 4 分再開

○議長（竹内清二君） 休憩を閉じ会議を再開いたします。

ここでご報告申し上げます。

休憩中、決算審査特別委員会を開催し、正・副委員長の互選をいたしました結果、委員長に橋本智洋君、副委員長に進士為雄君が選出されましたので、ご報告いたします。

---

◎報第 8 号及び報第 9 号の上程・説明・質疑

○議長（竹内清二君） 次は、日程により、報第 8 号 平成29年度決算に基づく下田市健全化判断比率の報告について、報第 9 号 平成29年度決算に基づく下田市公営企業の資金不足比率の報告について、以上 2 件を一括議題といたします。

当局の報告を求めます。

総務課長。

○総務課長（井上 均君） それでは、報第 8 号 平成29年度決算に基づく下田市健全化判断比率の報告についてご説明を申し上げます。

議案件名簿の11ページをお開きいただき、あわせて条例改正関係等説明資料の 1 ページから 7 ページのほうをご覧いただきたいと思います。

本報告は、地方公共団体の財政の健全化に関する法律第 3 条第 1 項の規定により、平成30年度に公表する健全化判断比率を別紙監査委員の意見を付して、次のとおり報告するものでございます。

各指標につきましては、議案表中に記載のとおり、実質赤字比率及び連結実質赤字比率は棒線表示、実質公債費比率は7.0%、将来負担比率は38.9%でございます。

また、表中括弧内に記載の数値は、地方公共団体の財政の健全化に関する法律施行令第 7 条で定められたそれぞれの自治体の標準財政規模に応じた基準であり、本市の早期健全化基準を示しております。早期健全化基準はいわゆる黄色信号を示しているもので、本市の場合は、実質赤字比率が14.44%以上になると早期健全化の対象となるものでございます。

以下、他の指標も本市の比率がそれぞれ記載された基準を超えた場合、早期健全化の対象となり、財政健全化計画を策定することとなるものでございます。

それでは、健全化比率の内容につきまして、条例改正関係等説明資料によりご説明申し上げます。

条例改正関係等説明資料の 1 ページをお開きください。

健全化判断比率の概要でございます。

1、実質赤字比率は、一般会計及び特別会計のうち普通会計に相当する会計を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率で、本市における普通会計に相当する会計は一般会計、下田駅前広場整備事業特別会計及び公共用地取得特別会計の3会計でございます。この3会計の純計額において、繰上充用等の赤字額はございませんでした。

なお、資料4ページ、1、①表、（純計）、一般会計等に係る実質収支額の表の右下欄をご覧くださいますと、実質赤字比率はマイナス11.12と表示されておりますが、実質赤字比率は黒字の場合にマイナス表示されるということで、11.12%の黒字ということでご理解ください。

説明資料の1ページにお戻りいただき、2、連結実質赤字比率でございます。

連結実質赤字比率は、下田市の全会計を対象にした実質赤字の標準財政規模に対する比率で、この指標も実質赤字比率と同様、赤字はございませんでした。

恐れ入りますが、説明資料5ページ、総括表②、連結実質赤字比率の状況（平成29年度決算）のほうをご覧ください。

こちらの表の右の一番下をご覧くださいますと、連結実質赤字比率はマイナス23.26と表示されております。連結実質赤字比率も先ほどと同様、23.26%の黒字ということでご理解ください。

続きまして、説明資料の1ページにお戻りいただき、3、実質公債費比率でございますが、実質公債費比率は一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模を基本とした額に対する比率で、恐れ入ります、説明資料6ページをお願いいたします。総括表③、実質公債費比率の状況（平成29年度決算）の中段の一番右側にありますように、実質公債費比率は3カ年平均で、地方債許可基準の18%を下回る7.0%となり、昨年度の7.3%と比較して0.3ポイント改善しております。単年度におきましては7.33739となり、前年度の7.02919から0.30820ポイント上昇しております。原因といたしましては、元利償還金の額が上昇しておりまして、大きいところでは認定こども園建設に係る元金の償還が始まったことによるものが一番大きい理由です。

説明資料の2ページをお開きください。

4、将来負担比率でございますが、将来負担比率は一般会計等が負担すべき実質的な負債の標準財政規模を基本とした額に対する比率で、恐れ入ります、説明資料の7ページをお願いいたします。総括表④、将来負担比率の状況（平成29年度決算）の下段の一番右側にあり

ますように38.9%で、前年度の45.7%と比べ、6.8ポイント改善しております。

以上、大変雑駁な説明ではございますが、報第8号 平成29年度決算に基づく下田市健全化判断比率の報告についての説明を終わらせていただきます。

○議長（竹内清二君） 上下水道課長。

○上下水道課長（長谷川忠幸君） それでは、報第9号 平成29年度決算に基づく下田市公営企業の資金不足比率の報告についてご説明申し上げます。

恐れ入りますが、議案件名簿の12ページをお開きください。

本報告は、地方公共団体の財政の健全化に関する法律第22条第1項の規定によりまして、平成30年度に公表する資金不足比率を別紙監査委員の意見をつけまして、次のとおり報告するものでございます。

恐れ入りますが、条例改正関係等説明資料の8ページをお願いいたします。

資金不足比率でございますが、公営企業における資金不足の状況をあらわしたものでございまして、この比率が高くなるほど当企業の事業規模に比して累積された資金不足が発生しており、公営企業として経営状況に問題があることになります。経営健全化基準は20%とされておりまして、これを超えた場合には、実質赤字を解消するために、議会の議決を経た上で経営健全化計画を定めなければなりません。

資金不足比率は、資金不足を事業規模で除して算出されます。アからエはそれぞれの額の算定式でございます。

次に、説明資料の9ページから11ページが資金不足比率等に関する様式となっております。11ページをお開きください。

（8）の欄ですけれども、各公営企業の数値は剰余額で、不足額はなしとなります。この結果、資金不足比率算定式の分子がゼロとなりまして、資金不足比率はなしとなるものでございます。

議案件名簿の12ページにお戻りいただきまして、表でございますが、下田市水道事業会計、下田市下水道事業特別会計、下田市集落排水事業特別会計はそれぞれ資金不足比率なしとなるもので、棒線表示となっております。

以上、雑駁な説明ではございますが、報第9号 平成29年度決算に基づく下田市公営企業の資金不足比率の報告について説明を終わらせていただきます。

以上でございます。

○議長（竹内清二君） 当局の説明は終わりました。

これより各報告ごとに質疑を行います。

まず、報第8号 平成29年度決算に基づく下田市健全化判断比率の報告についてに対する質疑を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（竹内清二君） 質疑はないものと認めます。

これをもって、報第8号 平成29年度決算に基づく下田市健全化判断比率の報告についてに対する質疑を終わります。

次に、報第9号 平成29年度決算に基づく下田市公営企業の資金不足比率の報告についてに対する質疑を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（竹内清二君） 質疑はないものと認めます。

これをもって、報第9号 平成29年度決算に基づく下田市公営企業の資金不足比率の報告についてに対する質疑を終わります。

---

#### ◎報第10号の上程・説明・質疑・討論・採決

○議長（竹内清二君） 次は、日程により、報第10号 専決処分の承認を求めることについて（平成30年度下田市一般会計補正予算（第3号））を議題といたします。

当局の説明を求めます。

総務課長。

○総務課長（井上 均君） それでは、恐れ入ります、補正予算の色がピンク色と黄色の補正予算と補正予算の概要をご用意いただきたいと思います。

最初に、ピンク色のほうからまいりますので、お願いします。

それでは、報第10号 専決処分の承認を求めることについて（平成30年度下田市一般会計補正予算（第3号））につきましてご説明申し上げます。

議案件名簿の13ページをお開きください。

報第10号 専決処分の承認を求めることについてでございますが、地方自治法第179条第1項の規定により、専第5号 平成30年度下田市一般会計補正予算（第3号）を別紙のとおり平成30年7月30日に専決処分したことにつき、同条第3項の規定により、議会の承認を求めるものでございます。

恐れ入りますが、別紙ピンク色の補正予算書及び補正予算の概要をご用意ください。

それでは、補正予算書の 1 ページをお開きください。

補正予算の主な内容につきましては、平成30年 7 月28日の台風12号による被災による公共災害及び単独災害復旧経費と財源となる国庫支出金、市債及び繰越金を専決補正予算したものでございます。

それでは、改めまして補正予算書の 1 ページをお願いいたします。

平成30年度下田市の一般会計補正予算（第 3 号）は、次に定めるところによるもので、第 1 条の歳入歳出予算の補正でございますが、第 1 項は、既定の歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ5,743万9,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ101億6,158万5,000円としたものでございます。

第 2 項は、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、第 1 表歳入歳出予算補正によるということで、予算書の 2 ページから 5 ページ記載のとおりでございますが、内容につきましては補正予算の概要によりご説明を申し上げます。

続きまして、第 2 条、地方債の補正です。

地方債の追加は、第 2 表地方債補正によるということで、補正予算書の 6 ページをお開きください。

今回、地方債の追加は 3 件でございます。

1 件目、起債の目的、公共水産施設災害復旧事業、限度額710万円につきましては、白浜漁港（板戸・板見）防波堤の復旧工事財源として、補助災害復旧事業債を発行するもので、起債の方法、利率、償還の方法は記載のとおり。

2 件目、起債の目的、単独河川・道路橋梁施設災害復旧事業、限度額300万円につきましては、市道沖磯線その他の市道復旧工事財源として、一般単独災害復旧事業債を発行するものの。

3 件目、起債の目的、単独観光施設災害復旧事業、限度額2,600万円につきましても同様に、白浜中央海水浴場離岸堤及びアロエの里護岸その他の破損復旧工事財源として、一般単独災害復旧事業債を発行するものでございます。

恐れ入りますが、補正予算の概要をご用意いただき、2 ページ、3 ページをお開きください。

歳入でございます。

総務課関係、18款 1 項 1 目 1 節繰越金1,000万円の増額は、歳出財源の調整。

20款 1 項 7 目 1 節現年発生補助災害復旧事業債710万円の追加は、白浜漁港（板戸・板見）防波堤の復旧工事財源として公共水産施設災害復旧事業に充てるもの。

同 2 節現年発生単独災害復旧事業債2,900万円の追加は、市道沖磯線その他の道路復旧事業に300万円、白浜中央海水浴場長田第二防波堤及びアロエの里護岸その他の破損復旧等、単独観光施設災害復旧事業に2,600万円を充てるもの。

産業振興課関係、13款 1 項 2 目 1 節国庫・農林水産施設災害復旧費負担金1,133万9,000円の追加は、平成30年災水産施設災害国庫負担金を受け入れるものでございます。

続きまして、4 ページ、5 ページをお開きください。

歳出でございます。

総務課関係、10款 4 項 1 目7588単独総務施設災害復旧事業11万5,000円の追加は、爪木崎ビニールハウスの修繕料。

12款 1 項 1 目予備費77万9,000円の増額は、歳入歳出調整額。

産業振興課関係、10款 1 項 4 目7151公共水産施設災害復旧事業1,954万3,000円の追加は、白浜漁港板戸浜第五防波堤、板見第一、第二防波堤復旧に係る工事請負費、時間外勤務手当、測量業務委託です。

同 5 目7210単独農用施設災害復旧事業60万円の追加は、農道北湯ケ野戸崎 1 号線及び宇土金用水路の修繕料。

同 8 目7242単独水産施設災害復旧事業156万2,000円の追加は、田牛漁港、須崎漁港、白浜漁港の修繕料。

同 4 項 3 目7617単独保健休養林施設災害復旧事業79万4,000円の追加は、爪木崎自然公園の修繕料。

観光交流課関係、10款 4 項 5 目7644単独観光施設災害復旧事業2,760万8,000円の追加は、白浜中央海水浴場、アロエの里の復旧工事の破損復旧工事及びはまぼうロード、板戸海水ブールの修繕料。

建設課関係、10款 2 項 3 目7430単独河川災害復旧事業120万円の追加は、準用河川宮前川、砥川、北湯ケ野川の修繕料。

同 4 目7490単独道路橋梁施設災害復旧事業427万3,000円の追加は、市道沖磯線の市道復旧工事及び市道鶴島大浦線、加増野 1 号線、須崎恵比寿島循環線、桂線の修繕料。

同 5 目7502単独住宅災害復旧事業 3 万8,000円の追加は、上河内住宅の修繕料。

同 4 項 2 目7600単独都市公園施設災害復旧事業 3 万7,000円の追加は、敷根公園の修繕料。

学校教育課関係、10款3項2目7569単独学校施設災害復旧事業81万5,000円の追加は、下田小学校倉庫撤去業務委託及び倉庫新設。

同3目7576単独幼稚園施設災害復旧事業1万5,000円の追加は、下田幼稚園倉庫撤去業務委託。

同4項7目7662単独民生施設災害復旧事業6万円の追加は、認定こども園倒木撤去業務委託でございます。

以上、大変雑駁な説明ではございますが、報第10号 専決処分の承認を求めることについて（平成30年度下田市一般会計補正予算（第3号））の説明を終わらせていただきます。

よろしくご承認のほどお願い申し上げます。

○議長（竹内清二君） 当局の説明は終わりました。

本案に対する質疑を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（竹内清二君） 質疑はないものと認めます。

お諮りいたします。

本案は委員会に付託することを省略いたしたいと思います。これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（竹内清二君） ご異議はないものと認めます。

よって、委員会付託を省略することと決定いたしました。

これより討論、採決を行います。

まず、反対意見の発言を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（竹内清二君） 討論はないものと認めます。

採決いたします。

本案は原案のとおり承認することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（竹内清二君） ご異議はないものと認めます。

よって、報第10号 専決処分の承認を求めることについて（平成30年度下田市一般会計補正予算（第3号））は、原案のとおり承認することに決定いたしました。

---

◎報第11号の上程・説明・質疑・討論・採決

○議長（竹内清二君） 次は、日程により、報第11号 専決処分の承認を求めることについて（平成30年度下田市一般会計補正予算（第4号））を議題といたします。

当局の説明を求めます。

総務課長。

○総務課長（井上 均君） それでは、報第11号 専決処分の承認を求めることについて（平成30年度下田市一般会計補正予算（第4号））につきましてご説明申し上げます。

議案件名簿の18ページ、一番最後のページになります、お開きください。

報第11号 専決処分の承認を求めることについてでございますが、地方自治法第179条第1項の規定により、専第6号 平成30年度下田市一般会計補正予算（第4号）を別紙のとおり平成30年9月12日に専決処分したことにつき、同条第3項の規定により議会の承認を求めるものでございます。

別紙黄色の補正予算書及び補正予算の概要をご用意ください。

補正予算の内容でございますが、平成30年9月10日に発生した大雨による災害復旧経費を補正したもので、9月12日までに災害経費を見積もることができた額を各事業に計上しておりますが、被災経費の精査途中のものもございます。そのものにつきましては、予備費の充用で対応を考えております。

本来であれば、全員協議会において被災状況の報告をさせていただくものですが、今回は補正予算の概要6ページから9ページに関連の資料をつづり込みましてかえさせていただきました。後ほどご説明のほうをさせていただきます。

それでは、補正予算書の1ページをお開きください。

平成30年度下田市の一般会計補正予算（第4号）は、次に定めるところによるもので、第1条の歳入歳出予算の補正でございますが、第1項は、既定の歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ2,900万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ101億9,058万5,000円としたものでございます。

第2項、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、第1表歳入歳出予算補正によるということで、補正予算書の2ページから5ページ記載のとおりでございますが、内容につきましては、後ほど補正予算の概要によりご説明申し上げます。

次に、第2条、地方債の補正でございますが、地方債の変更は、第2表地方債の補正によるということで、補正予算書の6ページをお開きください。

地方債の変更は1件で、災害復旧工事によるものでございます。

単独河川・道路橋梁施設災害復旧事業は、限度額300万円を1,200万円に変更するもので、市道尾平2号線及び市道須郷線の道路復旧工事財源として、一般単独災害復旧事業債を増額するものでございます。

続きまして、恐れ入りますが、補正予算の概要の2ページ、3ページをご用意ください。

歳入でございます。

総務課関係、18款1項1目1節繰越金2,000万円の増額は、歳出財源の調整。

20款1項7目2節現年発生単独災害復旧工事債900万円の増額は、今回被災いたしました市道尾平2号線及び市道須郷線の道路復旧事業に財源として借り入れるものでございます。

4ページ、5ページをお開きください。

歳出でございますが、総務課関係、12款1項1目予備費1,497万1,000円の増額は、歳入歳出調整額及び被災経費の精査途中のものに今後対応するためでございます。

防災安全課関係、3款5項3目1841災害対策事業13万9,000円の増額は、平成30年9月12日の豪雨による被災対応に係る時間外勤務手当及び消防団員費用弁償。

福祉事務所関係、3款5項1目1800災害救助総務事務3万円の追加は、災害見舞金1件を支給するものでございます。

産業振興課関係、10款1項6目7430単独林用施設災害復旧事業（9月10日災）186万円の追加は、林道7カ所の復旧修繕料でございます。

観光交流課関係、10款4項5目7645単独観光施設災害復旧事業（9月10日災）30万円の追加は、竜宮公園遊歩道の復旧修繕料でございます。

建設課関係、10款2項4目7492単独道路橋梁施設災害復旧事業（9月10日災）1,170万円の追加は、市道11路線の災害修繕料及び工事請負費でございます。

以上、大変雑駁な説明ではございますが、報第11号 専決処分の承認を求めることについてに係る専第6号 平成30年度下田市一般会計補正予算（第4号）の説明を終わらせていただきます。

よろしくご承認のほどお願い申し上げます。

○議長（竹内清二君） 防災安全課長。

○防災安全課長（高野茂章君） それでは、私のほうから、気象概要、被災概要についてご報告いたします。

補正予算の概要の6ページをお願いいたします。

平成30年9月10日の大雨による被害状況です。

発生日は平成30年9月10日月曜日、発生場所は下田市内。

気象状況及び災害概要ですが、9月10日15時52分に大雨土砂災害警報が発生され、18時8分に土砂災害警戒情報が発表されました。解除につきましては、21時35分に土砂災害警戒情報の解除、22時26分に大雨警報の解除がされました。

降雨量につきましては7ページ記載の雨量計のデータのとおりですが、最大雨量を観測した落合浄水場では10日の13時から23時までに54ミリの降雨があり、時間雨量につきましても落合浄水場で17時から18時までに46.5ミリの降雨がありました。

被災状況ですが、市道須郷線の土砂流出による道路埋没、尾平2号線の路側決壊、また住家3棟、非住家1棟の浸水家屋がありました。その他の被害の詳細は8ページに、被害箇所につきましては9ページの箇所図のとおりとなっておりますが、9月12日現在での被災経費が算出できた箇所となっております。

続きまして、経過、活動状況ですが、10日の15時52分の大雨警報発表に伴い、事前配備態勢を設置し、17時30分に市道須郷線で土砂流出による路面埋没が数カ所発生し、建設課にて対応。17時39分には雨量規制により伊豆急行線が下田伊豆高原間で運転見合わせとなり、同報無線の実施。17時55分に市道土浜高馬線、高馬地区で土砂流出による路面埋没が発生、建設課にて対応。18時8分に土砂災害警戒情報が発表。19時30分に土浜高馬線の土砂撤去作業が終了しました。20時には伊豆急行線で運転を再開し、同報を実施。20時15分、市道北湯ケ野小坂線、尾平2号線、立間線、いずれも北湯ケ野地区ですが、土砂流出による路面埋没が発生し、建設課にて対応。20時32分に須原2区、中村地区で住家2棟、非住家1棟に床下浸水の被害の確認、消防団第3分団に対応を依頼をしました。21時35分に土砂災害警戒情報の解除、22時26分の大雨警報解除に伴い、22時40分に事前配備態勢を廃止しました。

11日になりますが、午前1時に市道須郷線の土砂撤去作業が終了し、午前2時には市道北湯ケ野小坂線ほか2路線の土砂撤去作業が終了しました。8時に市道尾平2号線の路側決壊箇所の確認をし、ただいま建設課のほうで対応をしております。

以上で9月10日の大雨による被害状況についての報告を終わらせていただきます。

○議長（竹内清二君） 当局の説明は終わりました。

本案に対する質疑を許します。

9番 伊藤英雄君。

○9番（伊藤英雄君） 災害対応ご苦労さまでした。

市債、災害復旧債を900万お借りしているんです。一般会計から拠出は当然可能だったと思うんですが、災害復旧債を使った理由についてご説明願えますか。

○議長（竹内清二君） 総務課長。

○総務課長（井上 均君） 災害復旧債は充当率が100%、交付税措置率が47.5%ございますので、そちらのほうを活用させていただきました。

交付税措置がないものでしたら使いませんが、大体50%ぐらいから上のもの、こういうものはできるだけ使って、逆に交付税措置が低いのは今後財源があれば調整していくというふうな考え方でおります。

以上でございます。

○議長（竹内清二君） 9番 伊藤英雄君。

○9番（伊藤英雄君） その線引きのところは40%、つまり交付税措置される率が40%を境に、起債を起こすのか一般会計から出すのかを判断しているということですか。

○議長（竹内清二君） 総務課長。

○総務課長（井上 均君） 当初予算の段階では、財政調整基金からの取り崩しの額を加味してやらせてもらっています。ですので、交付税措置がないものでも当初予算はやはり予算編成をしなければなりません。今年度につきましては100億を超える予算を組んだこと、それから当初予算で財調の取り崩しが3億9,000万というふうな状態でしたので、例えば交付税措置がないような市営住宅の除却債などはないんですけれども、ただ、経費の負担としては平準化がかけたいものについては起債を起こしているというところで、補正予算で起債を起こすときには、できるだけ交付税措置があるものは対応しようというふうに考えております。

以上でございます。

○議長（竹内清二君） ほかに質疑は。

4番 滝内久生君。

○4番（滝内久生君） 概要の8ページ、一覧表ありますけれども、真ん中のところに市道尾平2号線700万円工事請負費、載っていますけれども、公共災害にならないのはなぜでしょうか。

○議長（竹内清二君） 建設課長。

○建設課長（白井達哉君） 金額だけ見ると公共災害かなというご指摘だと思いますけれども、まず公共災害に採択されるための工法検討、詳細な測量等にも数百万の費用がかかることと、あと日頃の維持管理がどうだったのかということも問われるところでありまして、そういつ

たこと全てクリアして、公共災として補助金をもらって何千万の工事をやるよりも、単独災害でできる限りのことをしたほうが財政的には有利だと考えたからでございます。

○議長（竹内清二君） 4番 滝内久生君。

○4番（滝内久生君） 単独の起債を起こすということは、公共に当てはまらない理由書がありますよね。それが公共にはまらないよということで、単独で例えば幅員2メートル以下だとか何とかとあるわけで、その要件に今の要件だと合わないもので、本来そういうことであれば道路維持費で対応してもよかったのかなと思っていますけれども、その辺は起債のことよくわかっていると思いますので、井上君が大丈夫だと思いますけれども、ちょっと心配でしたので、一言。

○議長（竹内清二君） ほかに質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（竹内清二君） これをもって質疑を終わります。

お諮りいたします。

本案は委員会に付託することを省略したいと思います。これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（竹内清二君） ご異議はないものと認めます。

よって、委員会付託を省略することと決定いたしました。

これより討論、採決を行います。

まず、反対意見の発言を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（竹内清二君） 討論はないものと認めます。

採決いたします。

本案は原案のとおり承認することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（竹内清二君） ご異議はないものと認めます。

よって、報第11号 専決処分の承認を求めることについて（平成30年度下田市一般会計補正予算（第4号））は、原案のとおり承認することと決定いたしました。

---

○議長（竹内清二君） 以上で、本日の日程は全部終了いたしました。

これをもって散会いたします。

なお、15日から17日は休会といたし、18日、本会議を午前10時より開催いたしますので、ご参集のほどよろしくお願い申し上げます。

お疲れさまでございました。

なお、決算審査特別委員会協議会を午後2時10分より第1委員会室で開催いたしますので、委員の方はご参集お願いいたします。

お疲れさまでございました。

午後 2時 0分散会